

デザインに  
こだわった  
おみくじ

コロナ禍が明けてから、それまでの息苦しい生活の反動により、美しい景観を目に焼き付けるためや、その土地ならではのおいしい食べ物を味わうために、旅行に出かける人が大幅に増えている。  
今回は神社巡りに焦点を当て、特に斬新なデザインのものや、思わず手にしたくなるような魅力のあるおみくじと御朱印を、インスタグラムに投稿されている写真とともに紹介していきます。

色鮮やかな  
御朱印



菊田神社

@happy.neesan\_  
PHOTO: ねえさん

御朱印は桜と山菜 可愛い〜♡  
薄いブルーのご朱印帳に拝受しました！



ほしいも神社

@amicobear  
PHOTO: amicoさん

神社には黄金の鳥居が並び、  
少し高台にあるので  
眺望がよくとても良き神社でした！



自分が求めるものすべてを手に入れることができた。それは、多くの人が考える願いではないだろうか。お金であったり、心を寄せる相手であったり、名誉や才能であったり、人が欲するものはたくさんあるがそれらすべてが叶うことは難しい……。いや、もしかしたら、そんなことはないのかもしれない。

「ほしいもの

すべてが手に入る」

# ほしいも神社



## ほしいもみくじ

「ほしいものすべてが手に入る」という強欲すぎる願いも叶えてしまうのが、茨城県ひたちなか市にある、連なる金色の鳥居が印象的な、ほしいも神社である。令和元年（2019年）に、堀出神社の境内に建立された。茨城県は日本で一番の干し芋の生産地である。関東ローム層によりなかなか作物が育たない土地だったが、この平らで水捌けのよい土地が芋の栽培に適していたことから、盛んに生産されるようになったという。また、海が近いことから漁業も盛んで、魚を干す作業も日常的におこなって

@amicobear  
PHOTO : amico さん

おいものかたちのおみくじで  
可愛くテンションが  
上がりました！



いたため、芋の栽培と合わせて干し芋の生産が盛んになったそう。

しかし、干し芋を作るために、農家の人たちは朝3時に起き、芋を蒸してその日のうちに干すという大変な仕事をこなしている。干し芋の魅力をもっと全国に広めるために、地域おこしの一環として建てられたのが、ほしいも神社であった。

この神社で販売されている「ほしいもみくじ」は、一回300円で引くことができる。宮司の宮本正嗣さんがかなりこだわって作ったそうで、いちばんのこだわりは紅はるか

の金色を表した色と、ただの楕円ではなく芋の形に作られたデザインである。こだわりはほかにもあり、封を開けるとおみくじとともに、木でできた小さな芋の形をしたお守り「ほしいも守」が出てくる。また、その「ほしいも守」の色によってご利益が異なり、金運上昇・学業向上・健康厄除・大願成就・対人上昇の5種類がある。

住所  
〒311-1201  
茨城県ひたちなか市  
阿字ヶ浦町172-2  
電話番号  
029-265-9533

東京都渋谷区千駄ヶ谷、コンクリートで囲まれた小さな森。そこには、小さな白い鳩があなたの人生がより良いものになってくれるよう願ってくれる場所がある。毎日同じことの繰り返しに息苦しくなってしまうという方、仕事があまくいかずに落ち込みがちな方、前に進むのが怖くなってしまっている方は、一度ここに迷い込んでみることをおすすめしたい。きつと一羽の鳩が、あなたの行く末を明るく照らしてくれるだろう。

「皆様の人生が

より良いものになりますように」

ほとのもりはちまん

# 鳩森八幡神社



## 鳩みくじ

@m\_my\_\_k  
PHOTO : momoyo さん  
千駄ヶ谷ぶらぶら～

JR総武線千駄ヶ谷駅から徒歩5分ほどの場所にある鳩森八幡神社。めでたいことが起きる前触れとされている瑞雲がたびたび現れ、ある日、青空より白雲が降りてきて、不思議に思った村人が林のなかに入っていくと、突然、白鳩が数多、西の方へ飛びさっていったという伝承から「鳩森」と名付けられ、その名前から取り、10年ほど前から「鳩みくじ」の販売を開始した。このかわいらしい見た目の「鳩みくじ」は、一回100円で引くことができる。境内のおみくじかけに結ぶことで、まるで鳩が木に止まっているように見えて、たくさん並ぶ様子はとてもかわいらしい。このおみくじは、紙を解くと写真のように吉凶と運勢についての文章が書かれている



のだが、大吉が出たからといって浮かれてはいけない。一番大事なのは吉凶ではなく、その文章なのだから。「鳩みくじ」のチャームポイントは、そのかわいらしい見た目とは裏腹に文章が辛口などところがある。大吉だと思って読んでみれば、かなり厳しいことが書かれていることもある。反対に末吉にも関わらず、とても良いことが書かれていることもあるため、吉凶にだけ注目するのはなく、しっかりと文章を読むことが大事なのである。

しかし、書かれていることのすべてをを鵜呑みにする必要はなく、自分が信じたいものを信じればよいと思う。おみくじとは、前を向けた

めのひとつのきっかけになるものだからだ。気持ちが下がっているときに、なんとなくおみくじを引いてみることで気持ちが晴れることもある。鳩森八幡神社で販売されているおみくじも同じで、「引くことによって皆様の人生がより良いものになるように」との思いが込められている。誰かと一緒に引いて内容を照らし合い笑い合うのもよし、ひとり引いて、この先の運命を委ねてみるのもよし。「とにかく楽しんでほしい」とのことだ。「このおみくじが参拝者の人生の糧として、背中を押すことができるように」と祈っていると思う。

住所  
〒151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目1-24  
電話番号  
03-3401-1284



ご縁の記録

参拝の証を残す

神社巡りが趣味だという人が、コレクションとして集めているものひとつに、今回取り上げる「御朱印」がある。御朱印とは、参拝の証明としていただくことができる「神仏とご縁の記録」である。

一般的な御朱印は、印章と参拝日・神社仏閣の名称・祀られている神様の名前を墨で書き上げたものとなっている。しかし、デザインは寺社によってさまざまであり、それが御朱印の魅力であるといえる。もちろん書き手によっての違いもあり、同じものは存在しない。また、寺社によっては季節ごとにデザインの変更が見られるなど、同じ場所でも時期によって違いも見られることも魅力のひとつであるといえる。

今回取り上げる御朱印は、色によって、その寺社の特徴や由縁を表現しているものに焦点を当てる。

ひとつの注意事項を言うならば、御朱印とは神仏とご縁の記録であることから、いただく前に必ず参拝するのがマナーである。このご縁を大事に心に留めていただく必要があるのだ。



さくらぎ  
櫻木神社

住所 〒278-0032  
千葉県野田市桜台210-1  
電話番号 04712110001  
授与時間 午前9時30分〜午後3時30分

千葉県野田市桜台にある櫻木神社では、春限定で桜の色で描かれた御朱印を拝受することができ。地名に桜が入るほど、昔から桜の木が咲き誇る美しい土地であったことから、境内にも30種類以上約400本もの桜が植えられている。

ダイナミックな筆で書かれた御朱印には、思わず目をひく魅力がある。また、書き置きでの拝受ということから、御朱印サイズの小さな桜柄のクリアファイルもいただけそう。

満開の桜のなかにたたずむ櫻木神社は、まるで異世界のような美しさがあり、参拝者の幸せを願い続けた。

@shio\_no\_goshuin  
PHOTO: ♡ shino ♡さん  
季節の色文字御朱印です！  
春はピンク♡

からすもり  
鳥森神社

住所 〒105-0004  
東京都港区新橋2丁目15-5  
電話番号 03-3591-7865  
授与時間 午前9時〜午後4時



東京都港区新橋のビル街にひっそりとある鳥森神社は、必勝祈願や商売繁盛・技能上達・家内安全のご利益がある。

通常の御朱印は、赤・黄・青・緑の4色で巴紋と鳥をあしらった社紋で描かれており、「参拝者がこれからも健康で神社巡りをすることができるよう」と、無病息災のお守りも合わせて授与をしている。

菊田神社

住所 〒275-0016  
千葉県習志野市津田沼3丁目2-5  
電話番号 047147214125  
授与時間 平日 午前10時〜午後3時  
土日祝日 午前9時〜午後4時



千葉県習志野市にある菊田神社では、月替わりで押印が変わり、デザインの変化を楽しむことができる。境内には狛犬が6体いて、一番手前の一体は思わずつられて笑ってしまうようなにんまりと笑った表情から、「アイン狛犬」として親しまれている。

そのため、御朱印にも菊田神社のアイドル的存在である「アイン狛犬」が登場。山菜を両手に持ち、愛らしい表情で色鮮やかに描かれている。ぜひ、かわいらしい狛犬と御朱印に癒されに訪れてみてほしい。

@yuka.trip0928  
PHOTO: yuka ♡さん  
鳥森神社は通常のカラフルな御朱印や、期間限定の御朱印がとっても人気なんですよね！

@happy.neesan\_  
PHOTO: ねえさん  
4月はお朔日参り！



# 日本のお祭りが



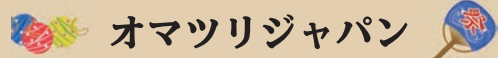
日本人なら誰もが一度は参加したことがあるはずの伝統あるお祭り。だが、少子高齢化による後継者不足や資金不足により、衰退の危機にある。しかし、オマツリジャパンがつくる「新しいお祭りの形」により、日本が誇る伝統行事が再び活気を取り戻そうとしている。

生き残るためにできること



# 日本のお祭りを盛り上げる！

## 「オマツリジャパンが目指す世界とは」



2014（平成26）年7月に、東京で創業したお祭りのサポート専門会社。  
全国各地でおこなわれる約30万件のお祭りのうち、年間約100件をプロデュース、企画・運営サポートなどをおこない、日本全体を盛り上げている。



野田宗一郎さん（30）  
オマツリジャパン営業部。  
お祭りに興味のある企業と地域のお祭りをつなげている。

「普段、会社でおこなっている業務について教えてください。」

お祭りに協賛したい企業と、協賛企業を探しているお祭りを結び付けて、企業と主催者の双方にメリットがある仕組みを考えています。お祭りは、単に人が集まるだけではなく、地域になじみが深く、そこに協賛することで商品のPRだけでなく、その地域も応援することができま。

具体的には、商品を宣伝したいという企業に対して、お祭り会場内でのプロモーションをご提案しています。協賛金として出店料がお祭りの主催者側に入ること、お祭りの運営資金面の課題解決にもつながります。お金に困っているお祭りをサポートしたいという想いから、出店だけでなく、現在さまざまな企画に取り組んでいます。

「今まででいちばん印象に残っているプロジェクトは何でしょうか？」

2023年4月、新宿歌舞伎町にできた次世代エンターテインメントフードホール「新宿カブキホール」でのイベントです。オマツリジャパンでは、毎週日曜に日本の文化を国内外の観光客様向けに発信するために、お

祭り団体によるステージイベントを実施させていただきます。

先日、阿波踊りの団体さんにパフォーマンスをしていただく機会がありました。演舞のなかで「一緒に踊りましょう！」と言っても、日本の方々はシャイであり参加されなかったのですが、海外のお客さんが積極的に入ってきて一緒に踊ったことが印象に残っています。言葉は通じないけれど、祭りをとおして日本の文化を海外の人に知っていただけた瞬間でした。



オマツリジャパン社員の皆さん。

「野田さんが考える、お祭りの魅力は何でしょうか？」

お祭りが終わったら、また来年に向けて1年間準備しますが、それが地域のコミュニティになっていくところもお祭りの魅力だと思います。まったく別業種の社会人、学生がお祭りに向けて一致団結して、この街を盛り上げようと協力していく、コミュニケーションの場になることも魅力です。その場で生まれ育って生活してきた年配の方と、子供たちや学生がつながる場所はなかなかありません。お祭りに若者が参加することによって、地域の大人の人たちと交流する場になります。あとは、言葉が通じなくても、お祭りに参加することで、海外の方との交流ができる場所も魅力だと思います。

「今後、オマツリジャパンとして、どのような活動をしていきたいですか？」

「お祭りを当たり前に開催できる世界を作る」ことを、オマツリジャパンは目指しています。すでに人手不足や資金問題で無くなってしまったお祭りも復活できるような仕組みを作れたらいいですね。そして、この街をもっと盛り上げていきたいという依頼があった時に、新しいお祭りを迷いなく創っていきたいです。



## 新宿歌舞伎町に「次世代の食祭街」が誕生！

### 新宿カブキホール

東京・新宿歌舞伎町の次世代エンターテインメントフードホールである「新宿カブキホール」。2023年4月14日にオープンしたばかりの東急歌舞伎町タワーの2階に入っている。

「祭り」をテーマに、食と音楽と映像が融合した食祭街。休日の昼間には、フードホールは子どもから大人まで、さらには海外の観光客でにぎわっていた。店内は祭りを連想させるちょうちんや青森ねぶた祭の装飾とともに、ネオンライトの光できらびやかに彩られている。また、北海道から沖縄までの日本全国各地、そして韓国の「ソウルフード」が食べられる10店舗が集結している。

毎晩、DJによる音楽のステージがあったり、毎週、祭りスペシャルステージをおこなっていたりと、さまざまなパフォーマンスやイベントを展開しており、歌舞伎町の新たな交流拠点として注目されている。



「横浜中華食祭」の様子。



人々でにぎわう「KABUKI CAFE」。

#### アクセス & 営業時間

〒160-0021

東京都新宿区歌舞伎町1丁目29番1

東急歌舞伎町タワー2F

西武新宿線「西武新宿駅」から徒歩1分

中国四国食祭・横浜中華食祭・九州沖縄食祭

24時間営業

KABUKI CAFE

10時から29時

近畿食祭・東北食祭・韓国食祭

11時から23時

北海道食祭

12時から29時

関東食祭・中部食祭

17時から29時

#### 祭りスペシャルステージ

毎週日曜日の15時と17時から、「KABUKI CAFE」前でおこなわれている祭りスペシャルステージ。和太鼓や三味線のステージ、阿波踊りやよさこいのステージを見ながら、まるで本当のお祭りに来ているかのような雰囲気を楽しめる。

